XX研究室

**アブストラクトフォーマット**

S2xxxx　足利花子

**１．タイトルページ**

　タイトルページは２つの部分で構成される．

　(a) タイトル部分（題目，著者）：横一段組

　(b) 本文部分：横二段組

（１）タイトル部分のレイアウトとフォント

　タイトル部分の左右のマージンは，本文の左右のマージンよりもそれぞれ10mmずつ大きくとる．すなわち，A4用紙の幅に対して左右それぞれ30mm以上のマージンをとる．

　タイトルはA4用紙の上辺に約35ｍｍのマージンをとり，センタリングする．以下，次の順にタイトル部分の構成要素を書く．

　　タイトル：ゴシック体 18ptフォント

　　　　　　（約10mmのスペース）

　　著者名：明朝体 12ptフォント

　　　　　　（約5mmのスペース）

（２）本文部分のレイアウトとフォント

　本文は二段組で，左右のマージンはそれぞれ20mm以上，段と段の間のスペースは8～10mmとする．下辺のマージンは20mm以上とする．

　本文には明朝体 10ptまたは10.5ptフォントを用いる．

**２．第２ページ**

　２ページ目は，上辺のマージンを20mm以上とする．それ以外はタイトルページの本文部分と同じレイアウトとフォントで本文を作成する．

**３．見出し（見出しが１行以上に長くなるときはこの例のようにインデントして折り返す）**

**３．１　見出しのレベル**

　見出しのレベルは２段階までとする．第１レベルの見出しはゴシック体とし，**２．**などの数字に続けて書く．また，見出しの上下にスペースを空ける．このサンプルでは，上下に１行ずつ空けている．

**３．２　第２レベルの見出し**

　第２レベルの見出しもゴシック体で，**３．２** のようにする．見出しの上だけに１行程度のスペースを空ける．

**４．数式および数学記号**

　数式や数学記号は次の式(1)，(2)のように書く．

　　　　　　　　 　(1)

　　　　　　　　(2)

数式は左詰めにし，式番号は括弧書きで右詰めにする．

**５．図，表および写真**

**５．１　図，表および写真の位置**

　図，表および写真は，それらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とする．原稿末尾にまとめたりしてはいけない．図，表および写真の横幅は，「二段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表１や図１のように「一段の幅いっぱい」のいずれかとする．図，表および写真の幅を一段幅以下にして図，表および写真の横に本文テキストを配置したり

表１　表のキャプションは表の上に置く．このよう

に長いときはインデントして折り返す．

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 長さ (m) | 重量 (kg) |
| 1 | 12.34 | 65.44 |
| 2 | 12.45 | 65.14 |
| 3 | 12.56 | 65.25 |
| 4 | 12.67 | 65.55 |
| 5 | 12.78 | 66.00 |



図１　図のキャプションは図の下に置く

しない．図，表および写真と文章本体との間には１行程度のスペースを空けて区別を明確にする．

**５．２　図，表の中の文字およびキャプション**

　図，表中の文字や数式の大きさが小さくなり過ぎないように注意する．特に，キャプションの大きさは，10ptより小さくならにようにする．

　長いキャプションは表１のようにインデントして折り返す．

**参考文献**

　参考文献は出現順に番号を振り，その引用箇所で上付きの右括弧付き数字で指示する．参考文献は，そのすべてを原稿の末尾にまとめてリストとして示す．